

平成21年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

- 1 審議会名 平成21年度 第3回図書館協議会
- 2 日 時 平成22年3月5日 午後1時30分から午後3時45分まで
- 3 会 場 明科総合支所 北第2会議室
- 4 出席者 甕会長、熊井副会長、清沢委員、本郷委員、金子委員、八賀委員、小林委員、望月委員、加々美委員、三重野委員、小原委員、武井委員、青木委員
- 5 市側出席者 丸山教育長、百瀬中央図書館副館長、山崎図書館長、赤堀図書館長、丸山図書館長、三澤館長、原野交流学習センター係長、高山図書館係長、細萱主任
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成22年3月15日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会 (高山係長)
- (2) あいさつ (甕会長・丸山教育長)
- (3) 協議事項
 - ① 平成21年度安曇野市図書館事業報告について
 - ② 新豊科図書館整備の進捗状況について
 - ③ 図書館協議会委員任期について
 - ④ その他
- (4) 閉 会

2 審議概要

- 【① 平成21年度安曇野市図書館事業報告について】
(事務局説明)

委員・・・図書館スタンプラリーは参加者148人とあるが、明科の29人の他に各図書館の内訳があれば知りたい。自分の記憶では、去年穂高図書館だけでも200人は越していたのに、5館で150人ほどに減ってしまったというのは共通して取り組む事業としては寂しい気がする。

事務局・・・中央館は52名だった。

館長・・・参加の意味をどうとるか。明科ではスタンプラリーのカードは100枚以上持っていかれたが、締め切りまでに提出があり、賞状と景品を差し上げた人数が29人だったということ。

委員・・・参加人数の予測はしているのか。それに対して少なかったのか多かったのか。例えばブックスタートなど。

副館長・・・ブックスタートは月々の出生数によって変動する。毎月25人から30人程度となっている。コンサートなどでは収容人数が200人なら200人と定員を設定するが、内容によっては100人でもいいという事業もある。講座に関しては座席数の問題があるので30人から50人で区切らせてもらっている。子ども対象だと20名以内が対応するのにちょうどいい人数としている。

委員・・・わかりました。当初の定員に対してどうだったかという評価をしているか。

副館長・・・行っている。

館長・・・豊科の場合、講座の場合定員は20名としている。映画上映会は100名。参加者の感想など聞きながら、人気のあった講座は再度実施したりと、次の講座の計画に活かす工夫をしている。

館長・・・今までは三郷地域だけの人が来ていたが、今では市内中から応募あり、1日で定員に達してしまうこともある。

委員・・・定員数をいれて報告してもらえばよかった。

委員・・・実施した内容を広報して欲しい。

会長・・・年間計画があるので、年度途中で講座の2回目をやるというのは難しい。次年度に取り組むことは出来る。1年2年と、経験の中でいい講座が出来てくると思う。

委員・・・職場体験の声かけの範囲はどのあたりまでか。

副館長・・・声かけというのはしていない。学校から依頼がきたら受け入れている。おおむね安曇野市内の中高生。

委員・・・学校から依頼があるということですね。学校から来るのを待っているのではなく、学校へ職場体験が出来るということをよびかけてはどうか。

館長・・・職場体験は、先生の指導にもよるが、生徒自身がこういうところへ行きたいと、自主的に希望を出してきている。図書館としても来て欲しい気持ちはあるが、多すぎても困る面がある。日数が2日程度となっているが、利用者と同じ目線で終わってしまうのでできれば3日欲しいというふうに学校からのアンケートには答えている。市外の高校に通っている地域の生徒も積極的に受け入れたいと思う。

会長・・・学校図書館司書と公共図書館司書の連携はあるのか。

副館長・・・中央館が開館してから一回話し合いをした。下校途中の立ち寄りや、遅い時間まで館に残っている生徒などに関して話し合った。

会長・・・三郷で教員研修とあるがこれは先生方の要望なのか、学校長の要望か。

館長・・・学校長のほうから。

委員・・・明科地域の4ヶ月健診は豊科の保健センターで受けている。参加人数が少ないので、明科のお話会などもPRしてほしい。

館長・・・チラシを毎回配っている。

委員・・・選書ツアーについて、児童書の選書をする企画もして欲しい。

事務局・・・検討する。

委員・・・中央図書館の絵本で、バーコードの貼る位置が表紙にあるが、抵抗がある。どうしても表に貼らなければならないのか。

副館長・・・発注の段階で10センチ四方内に添付することになっている。ICタグ一体型のバーコードは大きさもある。中のアンテナが折れにくい様に、貼り方も縦置きになっている。同じところに貼っていくとアンテナが重なり読み込みが悪くなってしまう。CDや文庫など、小さいものだと、表紙に字があるところに貼っているとと言われることがあるが、仕方がない。館内整理のときにも、貼る面がばらばらでは効率が悪い。

事務局・・・一度に何百冊という本が帰ってきている。ICタグと、バーコードのみの本があるが、バーコードのスキャンをする際に題名と内容を目視できなくなる。入札時に細かい仕様の取り決めをしている。

委員・・・どうにもならないと。何か理由があると思っていたので聞いてみてよかった。

副館長・・・以前は開くと中に色々紙がはってあったりしたが、それに比べればよくなった面もある。

委員・・・児童書に関しては、本棚の高さなど色々言いたいことがある。

副館長・・・部屋が小さいなどは財政的な問題もあるのでどうしようもなかった。

委員・・・今日出た意見というのは豊科、三郷の図書館について反映されていくのか。同じものを作るのはばかげている。

委員・・・中央図書館でやっている上映会は時間が夜だが、映画を見ると日曜の昼などがいいのではないか。

事務局・・・現在は第2、第4金曜日の7時から実施している。土日や祝日の日中は、ホールの貸出率が高いため金曜の夜に行っている。

委員・・・本や新聞の読み方講座などをやってはどうか。

副館長・・・読み方はそれぞれでいいのではないか。

委員・・・対面朗読などの場合は新聞の読み方にも一定のルールがあるが。個人で読むなら好きに読めばいいのでは。

委員・・・新聞社の広報を通じた講座などをやっているところがある。

委員・・・豊科などで読書会があるが、こうしたことをそれぞれの館でやってはどうか。

委員・・・読書会のことだが、しっかりできたところに新しい人が入るのは大変だと思う。受け入れる側も新しい人が来ると大変だと、お話し会のグループでも同じことがある。まったく新しい会ならいいと思うが。

副館長・・・読書サロンのようなものをという話は出ている。

事務局・・・まだ具体的ではないが、内部的にも今委員から指摘されたような状況は認識している。中央図書館が中心になってしまうが、開催時期や時間帯もずらして、工夫をし、堅苦しい読書研究というよりは、本を媒体にしてコミュニケーションをとっていこうという形の読書会を企画している。また、郷土資料を使った読書会も月1回程度で計画している。今後広報をしていく。

委員・・・国民読書年に合わせた交付金などが国から図書館にあるのか。

事務局・・・特にない。5年間で40万冊の整備を目標とし、3千万を予算に計画しているということだが、今後の景気もあるのでどうなるかわからない部分もある。

委員・・・ブックスタートをしているが、4ヶ月健診で本を配ってもあまり受け取る側の感動がない。小学校入学時に2、3冊から選ぶ形で提供するセカンドブック事業をしてはどうか。

会長・・・新年度に向けて進歩するように検討して欲しい。

【②新豊科図書館整備の進捗状況について】

事務局（資料説明）

委員・・・熊井啓監督の顕彰室の展示は業者がやるのか。

事務局・・・専門業者に委託すると大変費用がかかる。現在、文化振興係が展示計画などを行っている。美術館と協力しながら行っていく。

委員・・・豊科近代美術館は有料ゾーンで、図書館は無料となるが、廊下でつながっているのか。

事務局・・・一階部分は美術館部分はない。2階は渡り廊下からはいっても、施錠できる。交流ホールの展示をみてまわって、また美術館へ戻ることが出来る。図書館から有料ゾーンへは行くことはできない。

委員・・・穂高のように自動貸出機はないのか。

事務局・・・同じようにICタグによる資料の管理、貸出機やBDSゲートの設置をする。

委員・・・図書館サポーターをしているが、中央館の問題点は貸出機の位置が入り口に接近していてカウンターが短い。土日の混雑時はならんでもゆとりがない。また点字ブロックに子どもがカートでつっこんできたりする。設計に問題がある。豊科は配置など考えて欲しい。

委員・・・AVコーナーはあるのか。

事務局・・・PCコーナーとDVDのコーナーがある。

委員・・・絵本コーナーの書架がまたまらなくなっているが、中央図書館の書架も円形で本が探しにくい。サポーターもやっているが、本も返すに返せない。また同じのかと不安がある。高さもあるため、子どもが中で走り回っていてもわからないことがある。

事務局・・・まだ書架メーカーに発注するところ。変更はできるかと思う。

委員・・・ぜひそうして欲しい。高さも見直してもらいたい。

事務局・・・豊科は中は切れているので、見えるようになっている。

事務局・・・カウンターの後ろが絵本コーナー。ドアや壁はないので、職員がふりむけば見える構造になっている。

委員・・・穂高の場合はサポーターや職員が巡回して安全確認をしている。今のところ問題はない。ただ、本が多すぎて配置が大変ということはある。紙芝居も探しにくい。行政に求めるだけでなくボランティアの工夫も必要。子どもは保護者とくるので心配はない。

委員・・・太陽光発電の計画はないのか。

事務局・・・太陽光発電の計画はあったが、豊科の場合は屋根が南北になっている。東と西の屋根に設置すると、南側にむいていないため、発電効率がとても悪い。工事に費用が非常にかかるため、太陽光発電は断念した。

委員・・・三郷図書館の件について聞きたい。前回の資料で、平成24年度までに方向性を定めるということになっているが、22年になる。どの程度まで話が進んでいるのか聞きたい。

教育長・・・他の庁舎との関連や、今使っている児童館に子どもが納まらないという話も聞いている。健康福祉部と検討中ということで24年度までには方向性が決まると思う。

委員・・・三郷は人口が多い。現状は皆さんが知っているとおりに本当に小さい。庁舎を建てるから遅くなるとか、児童館が狭く見直しをするという理由で図書館が遅くなるということはおかしいと思う。市民は平等に図書館サービスを受けるべき。庁舎の話が先にでてくるというのはなんとも我慢がならない。24年というはまだ2年もある。三郷の方はどう思っているのか。

委員・・・早ければ早いほど、図書館はずっと望んでいたことなので他の地域の方からもそう言っただけるのは嬉しいこと。

教育長・・・今頂いたようなお話をうけて、これから検討していきたい。

委員・・・合併特例債は間に合うのか。

教育長・・・間に合わないと思う。

会長・・・新聞の記事などで庁舎の耐震性が出ている。宮澤市長に代わったり、財政難ということもあって豊科は予定どおりのようだが、三郷交流学習センターを庁舎と一緒に構想が出ていたが。

委員・・・いかにも信用性のある記事のようにでているが、新築やめ支所活用案ということで地域審議会が提唱し、副市長が大分乗り気だっというような記事だった。これを見てええっ？と思った。三郷図書館はもうできるものだと。この協議会にも出ていて思っていたが、行政が、市長が変わっているしどうなるのか。

教育長・・・そのような話も出てきてはいるが、はっきりとした方向にはなっていない。地域審議会ではそうした案も出たようだが。

委員・・・支所の中には大きな柱があって邪魔だったり、図書館としては難しいという話も三郷の方から聞いたが、そうしたことはないのか。

館長・・・図書館という構造ではない。使いにくい。審議会の方にも聞いたが、ただ案を出しただけで、何も基本的な構想は聞いてないのでは。

教育長・・・聞いていない。

館長・・・ただ机上でならべたことを発表しただけだと思う。できればいいなど。実際に建物的には図書館という向きではない。十分考えて欲しい。

会長・・・教育長の話のようにまだ全体の見通しはないということ。所定どおりいけばいいと思うが、色々難しい点もあると思う。

【③図書館協議会委員任期について】

事務局・・・委員任期が2年ということで今回が最後の協議会となる。現在、委員の公募などがHPや広報あづみに掲載されている。

【④その他について】

会長・・・4年間、または2年間委員の皆さんにお世話になった。以上で協議会は終わりとします。ありがとうございました。

教育長・・・冒頭で申し上げたが、皆さんありがとうございました。
(閉会)